

学校関係者評価報告書

この学校関係者評価報告書は、麻生情報ビジネス専門学校北九州校の学校関係者評価委員会の結果を記したものである。

平成28年 6月 30日

校 長 竹内 常高

自己点検・評価責任者

校長代行 高橋 賢二

学校関係者評価報告書

麻生情報ビジネス専門学校 北九州校

目次

I. 学校関係者評価の概要と実施状況.....	- 2 -
1. 学校関係者評価の目的	- 2 -
2. 学校関係者評価の基本方針	- 2 -
3. 学校関係者評価委員名簿	- 2 -
4. 学校関係者評価委員会実施日時.....	- 2 -
5. 学校関係者評価方法	- 2 -
II. 学校関係者評価内容	- 3 -
基準 1 理念・目的	- 3 -
基準 2 教育の内容.....	- 4 -
基準 3 教育の実施体制.....	- 6 -
基準 4 教育目標の達成度と教育効果	- 7 -
基準 5 学生支援.....	- 8 -
基準 6 学生募集・受け入れ	- 10 -
基準 7 社会的活動	- 11 -
基準 8 管理運営	- 12 -
基準 9 財 務.....	- 14 -
基準10 改革・改善	- 15 -

平成27年度
(2015年度)

I. 学校関係者評価の概要と実施状況

1. 学校関係者評価の目的

- ①卒業生、関係業界、職能団体・専門分野の関係団体、高等学校、保護者・地域住民などの学校関係者が、麻生情報ビジネス専門学校北九州校の自己点検・評価結果を評価することで、自己評価結果の客観性・透明性を高める。
- ②学校関係者から、学校運営・教育活動の現状における課題について助言を得ることで、学校運営の継続的な改善を図る。

2. 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価は、自己点検・評価報告書を基に「専修学校における学校評価ガイドライン」に則って実施することを基本方針とする。

3. 学校関係者評価委員名簿

	氏名	所属
業界関係者	小峰 正仁	(株)メンバーズ 取締役 兼 常務執行役員
業界関係者	森田 良一	バリエントソフト(株) 代表取締役
業界関係者	河上 和弘	(株)ジーン 第一開発事業部 事業部長
業界関係者	宮原 寿光	(株)R A I D 代表取締役社長
業界関係者	上田 浩二	ガレージインク 代表
業界関係者	伊藤 洋平	(株)安川ビジネススタッフ 営業企画本部 営業企画課長
高 校	岩本 康明	福岡県立小倉商業高等学校 校長
地域住民	安田 和英	地域住民代表
卒業生	西村 祥子	システムエンジニア科平成21年度卒業生
保護者	小牟田 尚美	ゲームクリエイタ科2年生の保護者

※敬称略

4. 学校関係者評価委員会実施日時

実施日時：平成28年6月2日（木） 16：00 ～ 17：30

場 所：麻生情報ビジネス専門学校北九州校 602教室

5. 学校関係者評価方法

平成27年度の自己点検・評価報告書に基づき、基準項目の自己評価結果および課題・解決方向について、下記のポイントに留意しながら評価を行った。

- (1) 自己評価結果の内容が適切かどうか
- (2) 今後の解決方向が適切かどうか
- (3) 学校の運営改善に向けた取り組みが適切かどうか
- (4) その他、学校の運営に関する助言

※参考 自己点検・評価における達成度の評定

- S：達成度が高い
- A：ほぼ達成している
- B：達成しているがやや不十分
- C：達成は不十分で改善を要する（不適合）

Ⅱ. 学校関係者評価内容

基準 1 理念・目的

項目総括

建学の精神については、校訓「無私」を麻生塾の基本価値とし教職員・学生の心のよりどころとすることを、学生便覧等に明文化して浸透を図っています。学外に対しては Web サイトで紹介しています。新任の教職員には、グループ企業研修会の際に麻生塾発祥の地に建立している「無私」の碑を見学し、その由来を説明しています。また麻生塾では、創立当初より企業や組織に求められる人材を育成することを理念として専門教育を行ってきました。

この理念は麻生塾のミッションの一部として明文化して、学内に掲示等を行っており、学外には Web サイトで紹介しています。またこの理念は、『麻生塾ルールブック』の第1章に明文化しています。学科の目標(育成人材像)および教育計画(カリキュラム)は文書化し、学生便覧および Web サイトで学内外に提示・公表しています。

主な課題及び改善の方向性

各学科の教育目的を実現するための人的資源、物的資源、財務資源等について、最低限の資源は確保できています。ですが、より良い人材を輩出するためには、さらに充実した資源(特に人的資源)が望まれます。今後は人的資源の確保に努めていきます。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

特になし

中項目 1-1

建学の精神、法人の理念、学校の教育理念、学科の教育目的・育成人材像は、明文化し社会に公表しているか。
理念は学校法人から各学校、各学科等、各レベルの理念や目的に展開し、学校構成員に共有されているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果：**S**

小項目 1-1-1

学校創設時に生まれた「建学の精神」、および根本的な考え方である「法人の理念」を明文化し、学校構成員(すべての教員、職員、学生)に周知を図り、社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果：**S**

■コメント 特になし

小項目 1-1-2

「各校の教育理念」は、教育と指導を通して学生に十分に理解され、本学校の卒業生として相応しい資質として周知させている。

■自己点検・評価結果：**S**

■コメント 特になし

小項目 1-1-3

「各校の教育理念」には、職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容などを盛り込んでおり、定期的に見直しを図っているか。

■自己点検・評価結果：**S**

■コメント 特になし

小項目 1-1-4

各学科の教育目的や育成人材像は、「法人の理念」および「各校の教育理念」から導き出されたものになっているか。

■自己点検・評価結果：**S**

■コメント 特になし

小項目 1-1-5

各学科の教育目的、教育計画は文書化し、学校構成員に提示・共有し、社会に公表しているか。

■自己点検・評価結果：**A**

■コメント

各学科、最低限の資源は確保しているが、より充実した資源が望まれる。

小項目 1-1-6

各学科の教育目的を実現するための人的資源、物的資源、財務資源等は適切に確保されているか。

■自己点検・評価結果：**S**

■コメント 特になし

=====

基準 2 教育の内容

=====

項目総括

教育目標や人材育成像は、各業界からのアンケート情報等により人材ニーズを把握し、学科の教育期間で到達可能なレベルとしています。カリキュラム作成においては、広報担当から高校関係者のヒアリングを行うとともに、平成25年度より業界関係者・有識者などの関係者で構成される教育課程編成委員会を発足させ、同委員会の意見を参考にカリキュラム開発を行っております。シラバスは教科ごとに作成しており、事前に学生に配布し到達目標を説明しています。

授業評価は教師アンケートを実施し、結果をフィードバックして授業の改善を行なっています。教員は、学科の育成目標に向けた授業を行うことができる要件を満たしていますが、人材開発システムに基づき更なるスキルの向上を図っています。学内外の研修参加も積極的に行なっています。

付加的教育については、独自のものとして塾長の唱えるグローバルシティズンをめざす教育(GCB 教育)を行なっています。人間力、志、人生の基軸等を学び、国際社会で活躍できる人材育成を目標としています。必要な分野においては、人材育成目標に合致したインターンシップを実施しています。また入学後、基礎学力が不足していると判断された学生に関しては、一般教養の補習を行っております。

主な課題及び改善の方向性

シラバスをさらに詳細に記したコマシラバスは用意していますが、授業内容に柔軟性を持たせるため、詳細な計画表は用意してありませんでした。平成 28 年度に必要性を検討します。

授業内容については学生にアンケートを実施し、結果に基づき改善を行っております。今後は教員同士の授業観察にも重点を置き、平成 29 年度からより詳細な計画に基づいて実施できるようにします。リメディアル教育(導入前教育)について、システムエンジニア科とコンピュータシステム科は全員にテスト・課題を実施していますが、他の学科は A0 入学の学生のみ実施しています。平成 28 年度に全学生に実施する内容を検討します。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

ご意見：1コマの授業内容について極めて詳細なシラバスは不要では？ 学生の理解度によって融通の利く教育体制であるべき。

【回答】：インストラクショナルデザインの理想論として、詳細なシラバスは必要だとあります。

ですが、学生の理解度に合わせた授業を実施することを踏まえると、現実的ではないと考えています。

今後、詳細なシラバスの必要性を検討しつつ、柔軟な教育体制の維持を図ります。

=====

中項目 2-1

各学科の教育目標、育成人材像に向けたカリキュラムの作成等の取り組みがされているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果：**S**

小項目 2-1-1

学科の育成人材像およびカリキュラムは、その学科に対応する業界の人材ニーズに向けて正しく方向付けて作成し、社会に公表しているか

■自己点検・評価結果：**S**

■コメント 特になし

小項目 2-1-2

育成人材像に向けた修業年限分のカリキュラムおよびシラバス・コマシラバスを作成しているか。また、シラバスは事前に学生に配布しているか。

■自己点検・評価結果：**A**

■コメント

各学科カリキュラム、各科目においてシラバスを使用し学生に周知している。コマシラバスもあるが、詳細な授業計画書はない場合が多い。

小項目 2-1-3

カリキュラムの作成に際し、複数の内部職員および業界関係者などの外部関係者をに入れて、高校生の現状、社会ニーズを反映させるために、意見を取り入れているか

■自己点検・評価結果：**S**

■コメント 特になし

小項目 2-1-4

教科ごとのシラバスおよびコマシラバスを取りまとめて、教科間の整合性を図り、定期的に検証・見直しているか

■自己点検・評価結果：**S**

■コメント 特になし

=====

中項目 2-2

各学科の教育目的、育成人材像に向けた教授学習プロセスの改善および教員の資質の維持や向上への取り組みがされているか

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果：**S**

小項目 2-2-5

学生による授業評価を定期的に行ない、評価結果をもとに授業観察や研修等の改善活動を計画的に行ない、それらを文書で確認できるか

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

授業アンケートは年2回実施しており、その結果に基づき面談や研修を実施している。授業観察に関しては計画を立て強化していく。

小項目 2-2-6

学生による授業評価以外で、授業改善のための組織的取り組みを行なっているか。(授業改善委員会(FD)等)

■自己点検・評価結果： **S**

■コメント 特になし

小項目 2-2-7

教員の専門性や指導力等の把握や評価、維持、向上のために、計画的に内部・外部の研修や自己啓発の支援を行ない、検証・評価を行なっているか

■自己点検・評価結果： **S**

■コメント 特になし

中項目 2-3

各学科の教育目的、育成人材像に向けた業界ニーズに対応した付加的教育の取り組みがされているか

■学校関係者評価結果： 適合

■自己点検・評価結果： **S**

小項目 2-3-8

企業・施設等での職場実習(インターンシップ含む)を行なっているか。

■自己点検・評価結果： **S**

■コメント 特になし

小項目 2-3-9

キャリア教育を行ない、学生の社会的・職業的自立に向け必要な基盤となる能力や態度を育成しキャリア発達を促しているか。

■自己点検・評価結果： **S**

■コメント 特になし

小項目 2-3-10

リメディアル(導入前教育、補習)教育を行なっているか。

■自己点検・評価結果： **A**

■コメント

システムエンジニア科・コンピュータシステム科については入学者全員にテストと課題を実施している。また、学科を問わずAO入学者に関しては事前の課題を実施している。入学後は学力に応じて一般教養の補習を実施している。

=====

基準 3 教育の実施体制

=====

項目総括

教育組織については、教育目標の達成や育成人材像に向けた教育がスムーズに行われるように教員を組織化しており、文書化しています。学校の年間スケジュールに関しては年間ターム表を作成し、教職員・非常勤講師・学生に配布し周知しています。就職支援に関しては、進路指導室を設置し求人検索システム・求人票・企業パンフレット・受験マニュアル・受験報告書などのツールを揃えています。

分煙・エコ活動・学内の整理整頓清掃等の教育環境の整備については、規定やルールを定め学生便覧に文書化し、および教室に掲示して周知徹底を図っています。学内外の実習時の安全対策に関しては文書化し学生に周知すると共に、火災や地震発生時の避難経路を教室に掲示し避難訓練を毎年行っています。施設・備品、防災・防犯設備の管理・整備および点検は定期的に行なっています。学生の登下校および学校生活における事故の保険には、全員加入しています。

主な課題及び改善の方向性

各学科の教育目的を実現するため、必要な授業科目を教えるのに専門教員は在籍しています。ですがより良い実施体制を実現するためには、さらに専門性の高い人材を確保する必要があると考えています。平成 28 年度は人材の確保に努めていきます。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

ご意見：授業環境において使用するソフトと、現場で使用しているソフトで、バージョンの差がある。

【回答】：CG関係に関しては平成 28 年の夏を目処に新しいものと入れ替える予定です。

システム系についてはキャンパスアグリーメント契約があるため常に最新を維持できています。

中項目 3-1

各学科の教育目標、育成人材像に向けた教育の実施体制は整備されているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果：**S**

小項目 3-1-1

教育目的を達成する優秀な人材を採用するために、適切な採用基準を設けているか。

■自己点検・評価結果：**S**

■コメント

本校HPにおいて、教育理念、求める人材像、能力等における必要要件について明文化して募集活動を実施している。

小項目 3-1-2

学科編成・教育課程に相応しい教員組織を整備しているか。

■自己点検・評価結果：**A**

■コメント

各学科共に最低限の資源は確保しているが、より充実した資源が望まれる。

小項目 3-1-3

非常勤講師と適切な協業および情報交換を図っているか。

■自己点検・評価結果：**S**

■コメント 特になし

中項目 3-2

各学科の教育目標、育成人材像に向けた教育環境が整備・活用されているか。

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果：**A**

小項目 3-2-4

該当なし

小項目 3-2-5

学生が就職に関する情報を収集したり、専門職員が就職支援を行う指定された場所はあるか。

■自己点検・評価結果：**S**

■コメント 特になし

小項目 3-2-6

学内外実習時の安全対策を文書化し、十分な対策を取っているか。

■自己点検・評価結果： **S**

■コメント 特になし

小項目 3-2-7

防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備システム等)を整備・点検しているか。

■自己点検・評価結果： **S**

■コメント 特になし

小項目 3-2-8

空調などの学校設備、机・イス等の教育備品、実習で使用する教具などの教育設備等を定期的に管理・点検しているか。

■自己点検・評価結果： **S**

■コメント 特になし

小項目 3-2-9

建物の長期改修計画を策定し、計画的に改修しているか。

■自己点検・評価結果： **C (不適合)**

■コメント

現在は、長期改修計画は作成されていないが、H28 年度に専門家による建物診断を実施する予定であり予算の手当ても行っている。

=====

基準 4 教育目標の達成度と教育効果

=====

項目総括

年度開始前に学科会議で、前年度の結果や評価を考慮し学生に関する目標設定を行い、キックオフ会議で全教職員が情報共有しています。就職に関しては各学科について月ごとの目標を設定しています。内定状況や学生の内定先などは、教職員で共有できるシステムを作成しデータの管理を行っています。就職担当と担当教員で毎週定期会議やミーティングを開き、学生の就職状況に関して検証を行い、教職員に対して学科会議などで定期的に報告を行っています。学校のパンフレット・Web サイト・オープンキャンパス・入試説明会・保護者会などで、外部に対して就職実績を公表しています。

成績評価・単位認定の方法は明確に定めており、学生便覧で周知しています。目標資格・検定については、各学科で明確に定めています。評価・成績・資格・検定・退学に関しては担当者会議を設け目標設定を行い、結果および検証について教務会議・系会議などで共有・記録しています。卒業生の就職の記録は学校システムで行ない、パンフレットおよび Web サイト等で公表しています。

主な課題及び改善の方向性

平成 27 年度に顧客満足度調査結果を企業向けに実施しましたが、卒業生の 1 年後の就業状況が完全には把握できていません。平成 28 年度では学生の内定先企業へ訪問し、就業状況を可能な限り把握できる体制を整えます。

■学校関係者評価結果： 適正

学校関係者評価 評価者のご意見

ご意見：卒業生の 1 年後の就業状況は何割程度把握できているのか。また訪問は大変だが実践するのか。

【回答】：把握割合は約 6 割です。卒業生に直接会いに行く形式で、訪問を実施する予定です。

中項目 4-1

各学科の教育目的、育成人材像に向けて、その達成への取り組みと評価がされているか

■学校関係者評価結果： 適合

■自己点検・評価結果： **S**

小項目 4-1-1

教科の評価・成績に関して目標を設定し共有しているか。また結果について記録し、検証・報告したか

■自己点検・評価結果： **S**

■コメント 特になし

小項目 4-1-2

該当なし

小項目 4-1-3

資格・検定・コンペに関して目標を設定・共有し、結果について検証・報告・公表したか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント 特になし

小項目 4-1-4

学生の就職に関して目標を設定し共有しているか。また就職活動を記録して、それをもとに結果の検証・報告・公表したか

■自己点検・評価結果：S

■コメント 特になし

小項目 4-1-5

卒業率のアップに関して目標を設定・共有し、退学を防止する活動に関して検証し、退学者数を公表しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント 特になし

小項目 4-1-6

卒業生(同窓生)の進路・就職先等を記録し、公表しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント 特になし

小項目 4-1-7

卒業生(同窓生)の1年後の就業状況を把握しているか。

■自己点検・評価結果：B

■コメント

内定先企業に顧客満足度調査を実施しているが、全ての企業から回答は得られていない。今後、可能な限り多くの企業から回答を得られるように努める。

基準 5 学生支援

項目総括

入学予定者には、学生募集活動を通して育成人材像、学科の目標などの情報を提供し、選択のミスマッチがないように十分な支援を行なっています。入学後は、担任による定期的な面談および専門家や専門機関による相談や健康診断などにより、学生の目標達成に向けた支援を積極的に行なっています。保護者とは必要であれば面談を行ない、情報共有や相互理解を図っています。

卒業後は同窓会組織(校友会)を通じて学校との情報共有を図り、卒業生のニーズに合った研修や職業紹介を行なっています。また就職部門員が卒業生の就職先企業へ定期的な訪問を行ない、卒業生の就業状況を把握して、在校生へ情報のフィードバックを行なっています。そのほか、学校情報を定期的に保護者、高等学校、企業等にお知らせし、学生支援を行なっています。

主な課題及び改善の方向性

平成 27 年度は、訪問できていない卒業生の就業先がありました。平成 28 年度は可能な限り定期的な訪問を行い、卒業生の状況の把握に努めます。またその際に、卒業生の就業状況を把握いたします。

■学校関係者評価結果： 適正

学校関係者評価 評価者のご意見

特になし

中項目 5-1

各学科の教育目的、育成人材像に向けて、学生支援が整備され組織的に行われているか(在学時)

■学校関係者評価結果： 適合

■自己点検・評価結果：S

小項目 5-1-1

担任による学生の面談を定期的に行ない、面談内容を記録しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント 特になし

小項目 5-1-2

キャリアサポート関連の有資格者(キャリアカウンセラー・キャリアコンサルタント・産業カウンセラー等)がいて、学生の就職指導を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

有資格者による適切な進路相談指導を行なっている。有資格者は福岡キャンパス・北九州校・ABC校に在籍しており対応できている。

小項目 5-1-3

担任以外にスクールカウンセラーに相談できる体制が整っているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント 特になし

小項目 5-1-4

学内に、ハラスメントに関する相談窓口があり、有効に機能しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント 特になし

小項目 5-1-5

保護者と計画的な相談会・面談を行っており、説明責任を果たしているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント 特になし

小項目 5-1-6

奨学金制度等の経済的支援があるか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント 特になし

小項目 5-1-7

留学生、社会人学生、障がい者等を受け入れて、支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント 特になし

小項目 5-1-8

該当なし

小項目 5-1-9

課外活動に対する支援を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント 特になし

中項目 5-2

各学科の教育目的、育成人材像に向けて、学生支援が整備され組織的に行われているか(卒業後)

■学校関係者評価結果： 適合

■自己点検・評価結果： A

小項目 5-2-10

卒業生の会(同窓会等)があり学校情報の提供や卒業生同士の交流がなされているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント 特になし

小項目 5-2-11

卒業生に対して職業紹介や講習・研修を行なう体制があり周知され、効果を上げているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント 特になし

小項目 5-2-12

卒業生の就業先へ定期的な訪問をして就業状況を把握しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

平成 27 年度はあまり実施しておらず、改善が必要。平成 28 年度より定期的な訪問を実施する。

中項目 5-3

学校情報を適切に提供しているか

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果：S

小項目 5-3-13

学校情報を卒業生に Web サイト等を通じて知らせているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント 特になし

小項目 5-3-14

学校情報を保護者に Web サイト等を通じて知らせているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント 特になし

小項目 5-3-15

学校情報を高等学校等に Web サイト等を通じて知らせているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント 特になし

小項目 5-3-16

学校情報を企業等に Web サイト等を通じて知らせているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント 特になし

基準 6 学生募集・受け入れ

項目総括

学生の受け入れ方針(アドミッションポリシー)を募集要項に明示して、学校および各学科がどのような能力や意欲を持った学生を求めているか明らかにし、入学後のミスマッチを無くすように努めています。募集要項にはその他、学費・教材費等も明示してあります。

学生の募集活動においては就職実績や国家試験結果をパンフレット・Web サイトで公表し、教育成果を正確に伝えることで、入学希望者に現状を理解していただけるようにしています。

主な課題及び改善の方向性

今後も継続して適切な学生募集・受け入れを実施いたします。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

特になし

中項目 6-1

学生募集活動は適正に行ない、入学選考は公正かつ適切に実施しているか

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果：S

小項目 6-1-1

学生の受け入れ方針(アドミッションポリシー)を明示して、入学希望者に求める資質、意欲、適性等を明示しているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント 特になし

小項目 6-1-2

学校案内等には育成人材像、目指す国家資格・就職先、修得できる知識及び技術等が明示されているか。

■自己点検・評価結果：S

■コメント 特になし

小項目 6-1-3

学校案内等には学費・教材費等がわかりやすく明示され、金額は妥当なものになっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント 特になし

小項目 6-1-4

学校案内に入学者の選抜方法が明示されて、入学者選考を公正かつ適切に実施し、定期的に検証を行なっているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント 特になし

小項目 6-1-5

学生募集活動において、就職実績、国家試験結果、卒業生の活躍等の教育成果は正確に伝えられているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント 特になし

小項目 6-1-6

適切な募集定員を設定し、学生を受け入れるとともに、在籍学生数を収容定員に基づき適正に管理しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント 特になし

=====

基準 7 社会的活動

=====

項目総括

学内でマナー委員会(ボランティア・挨拶などの活動を推進する)を組織し、年間の活動計画を立て、定期的な実施報告を行なっています。活動は教育内容を生かした連携を図りながら推進しております。学生はそれぞれの興味や関心に対応した、NPO法人等が主催するさまざまなボランティアへ参加しています。

教育ノウハウを活用した職業訓練や緊急雇用対策事業、NPO法人・ボランティア団体等への支援や職員の参加奨励、国内外からの教育施設見学受入など、積極的に社会貢献を進めています。さらに地域貢献への取り組みとして、高校生や大学生向けの仕事内容紹介イベント「お仕事スタジアム」を毎年参加費無料で開催しています。

主な課題及び改善の方向性

定期、不定期問わず、ボランティア活動を実施しています。現在はボランティア活動を単位認定することはできないため、平成 28 年度より単位認定ができるように準備を進めていきます。

■学校関係者評価結果： 適正

学校関係者評価 評価者のご意見

ご意見：ボランティアを単位認定すると、本質的にボランティアではなくなってしまうのではないか。

【回答】：他校ではボランティアを継続的にする学校もあり、単位認定しているところもあります。

ただし、それは教育目標に沿っているからであり、本校についてはボランティアを単位認定するのは不適切かもしれません。ボランティアの認定が必要なのかを含め、話し合っています。

中項目 7-1

計画的・組織的に社会活動への取り組みが推進されているか

■学校関係者評価結果： 適合

■自己点検・評価結果： S

小項目 7-1-1

目標・計画に基づく社会的活動(地域活動、地域貢献、ボランティア活動等)を推進し実施しているか。(制度上の問題がなければ単位認定)

■自己点検・評価結果： A

■コメント

ボランティア活動は実施している。今後単位認定ができるように準備を進めていく。

小項目 7-1-2

地域社会の行政、商工業、教育機関、文化団体等へ加盟して、定期的な会合に参加しているか。

■自己点検・評価結果： **S**

■コメント

北九州市産業経済局企業支援・産学連携部と連携しており、必要であれば協議を実施している。また、北九州総合デザイナー協会、北九州市留学生支援ネットワークにも加盟している。

小項目 7-1-3

地域貢献を目的とした無料公開講座などを実施しているか。

■自己点検・評価結果： **S**

■コメント

高校や小学校に出向いての公開講座を行っている。また、中学生のインターンシップも受け入れている。

小項目 7-1-4

企業・地域・行政等の組織と連携を図り、地域社会に貢献しているか。

■自己点検・評価結果： **S**

■コメント

高校や小学校に出向いての公開講座を行っている。また、行政と連携した北九州高校生イラストコンテストを実施している。CGデザイン科・CGクリエイター科においては、学生の作品が北九州総合病院救命センター救命救急チームのロゴマークデザインにも採用されることが決定している。

=====

基準 8 管理運営

=====

項目総括

麻生塾では社会に信頼される学校であり続けるために、コーポレートガバナンス体制の充実化とコンプライアンスの徹底強化に努めています。平成 25 年度からは人事考課制度である新人材マネジメント制度を実施し研修制度とリンクさせて、教職員の資質向上に努めています。

主な課題及び改善の方向性

今後も管理・運営体制を確立し、円滑な学校運営を継続していきます。

■学校関係者評価結果： 適正

学校関係者評価 評価者のご意見

特になし

中項目 8-1

学校の管理・運営体制が確立して、規定通りに運営しているか

■学校関係者評価結果： 適合

■自己点検・評価結果： **A**

小項目 8-1-1

運営会議(MM 会議、共有会議、教務会議・部門会議等)は定期的開催しているか。

■自己点検・評価結果： **S**

■コメント 特になし

小項目 8-1-2

組織の構成員のそれぞれの職務分掌は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント 特になし

小項目 8-1-3

決裁規程は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

稟議規程は文書化しており、学内ポータルサイトで全職員に対して公開している。内容について、最新化されていない箇所があるため、内容を最新化の上、改訂する予定である。

小項目 8-1-4

人事規程は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

就業規則等について冊子化し、各部署にて閲覧可能な状況にしている。最新版の常備が課題。

小項目 8-1-5

人事考課制度は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

人事評価制度は文書化しており教職員が閲覧できる。

小項目 8-1-6

昇進・昇格制度は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

昇進昇格制度は文書化している。管理職向けには開示及び説明したが全教職員に開示まではいっていない。

小項目 8-1-7

賃金制度は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

給与規定について冊子化し、各部署にて閲覧可能な状況にしている。最新版の常備が課題。

小項目 8-1-8

採用制度は文書化し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： C（不適合）

■コメント

一定の採用のルールはあるが、採用制度は文書化までいたっていない。

小項目 8-1-9

防災・防犯対策、非常時対策を文書化し組織化して、それに基づく訓練を定期的実施しているか

■自己点検・評価結果： S

■コメント

特になし

小項目 8-1-10

個人情報保護規程は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

特になし

小項目 8-1-11

ハラスメントに関する規程は文書化し、教職員に周知し、適切に運用しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント

特になし

小項目 8-1-12

SD(スタッフディベロップメント)に関する計画がありそれに基づき実施しているか。

■自己点検・評価結果： **S**

■コメント

特になし

=====

基準 9 財 務

=====

項目総括

年度予算を計画的に管理しており、今年から四半期ごとに経営会議に報告しています。またコンプライアンスを強化し、学校会計原則のルールに従い会計処理を行っています。各校も監査ルールに従った監査を実施し文書による結果報告を行い、正しい会計処理・運営に関して指導を行っています。外部監査も毎年受け承認を受けています。

主な課題及び改善の方向性

今後も健全な財務運営を継続していきます。

■学校関係者評価結果： 適正

学校関係者評価 評価者のご意見

特になし

中項目 9-1

財務体質が健全であり財務運営が適切に行なわれているか

■学校関係者評価結果： 適合

■自己点検・評価結果： **A**

小項目 9-1-1

年度予算および中期計画を策定しているか。

■自己点検・評価結果： **S**

■コメント 特になし

小項目 9-1-2

予算は計画に従って妥当に執行し定期的に確認しているか。

■自己点検・評価結果： **S**

■コメント 特になし

小項目 9-1-3

会計監査(内部・外部)体制のルールを明確にし、結果報告は文書等にて明確化しているか。

■自己点検・評価結果： B

■コメント

監査ルールは明文化していないが、外部監査については公認会計士の指導に基づき適正に行なっている。内部監査については、定期的に各校を訪問している。

小項目 9-1-4

私立学校法における財務情報公開の体制を整備し公開しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

常任理事会などで決定された「学校としての方針」に合わせて必要な事項を開示している。

小項目 9-1-5

固定資産管理規程を文書化し、固定資産を適切に管理・運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

総務の作成した固定資産管理規程に従って管理されている。

小項目 9-1-6

図書管理規程(本部および養成施設等)を文書化し、適切に管理・運用しているか。

■自己点検・評価結果： A

■コメント

図書管理規程を文書化しており、総合図書館において、学校図書を管理、運営している。固定資産に計上されている図書の把握が課題。

=====

基準10 改革・改善

=====

項目総括

文書化された自己点検・評価規定に基づき、本校の評価を組織的に行っています。行った評価は本校の全教職員に共有しています。また自己評価は年度末までに実施するようにしています。点検結果は学校関係者評価委員会や、本校 Web サイトにて公表しています。

主な課題及び改善の方向性

今後も継続して自己点検・評価活動を実施していきます。

■学校関係者評価結果：適正

学校関係者評価 評価者のご意見

特になし

=====

中項目 10-1

各学科の教育目的、育成人材像に向けて、自己点検・評価活動の実施体制が確立して、改革・改善のためのシステム構築がされているか

■学校関係者評価結果：適合

■自己点検・評価結果： S

小項目 10-1-1

自己点検・評価を適正に実施運用するためのルールを文書化し、実施および改善のための組織化し活動しているか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント 特になし

小項目 10-1-2

自己点検・評価の必要性を全教職員に伝え、評価結果を全教職員で共有する機会を設けたか。

■自己点検・評価結果： S

■コメント 特になし

小項目 10-1-3

自己点検・評価の結果に基づき期限を定めて改善計画に基づいた結果の検証をしているか。

■自己点検・評価結果: S

■コメント 特になし

小項目 10-1-4

自己点検・評価報告書を文書化し、学校の Web サイトに公開しているか。

■自己点検・評価結果: S

■コメント 特になし